

講義名	教養特講 (経済のしくみ)		
科目区分	教養特講		
担当教員	大住 康之		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 5時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**  
 経済の仕組みはどのようなものかを、日本経済のデータを概観したうえで、経済の見方や考え方の枠組みを提供する経済学の入門レベルの学習を通じて理解を深める。

**到達目標**  
 市場経済(ミクロ経済学)や経済全体の動き(マクロ経済学)といった経済の仕組みを理解するうえで基礎となる学習を通じて、経済問題について関心をもって考えることができるようになること。

**提出課題**  
 適宜指示する。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック**  
 適宜指示する。

**評価の基準**  
 授業内でレポート、試験を行う。

**履修にあたっての注意・助言他**  
 出席は肝要です。

<b>教科書</b>	.マンキュー入門経済学(第3版).	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社

**プリント資料及び参考文献**  
 適宜指示する。

**授業計画**  
 以下の順に講義する。各章1-2回行う。

1. 経済の仕組みと経済学

第1章 日本経済 - データ概観  
 第2章 経済学の十大原理

2. ミクロ経済学 - 市場経済

第3章 市場における需要と供給の作用  
 第4章 消費者、生産者、市場の効率性

3. レポートテスト

4. マクロ経済学 - 経済全体の動き

第5章 国民所得の測定  
 第6章 生産と成長  
 第7章 貯蓄、投資と金融システム  
 第8章 総需要と総供給

5. まとめテスト

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア: PBL(課題解決型学習)
イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート
エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション
カ: 実習、フィールドワーク

**準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間**  
 適宜指示する。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**